

AFP

アルファフェトプロテインキット

α -フェトプロテイン (AFP) は、胎生期に最初はヨークサックから、後には肝細胞から産生され、正常成人の血清中にはほとんど存在しません。

1956年、Bergstrandらは胎児血を電気泳動して、 α -1グロブリンの位置に泳動される高濃度の新しいたん白質分画 (AFP) の存在を発見しました¹⁾。1963年、Abelevらが移植肝癌マウス血清中に、翌年、Tatarinovらがヒト原発性肝細胞癌患者の血清中にAFPを見出してから臨床的意義が高まり、今日では、原発性肝細胞癌・肝炎・肝硬変・転移性肝癌・妊娠後期の診断・病状把握のモニター・治療の予後判定に欠くことのできない検査項目として広く用いられています²⁾。

1) Bergstrand C. G., Czar B., J. Clin. Invest., 8, 174 (1956)

2) Belanger L. et al., Clin. Chim. Acta., 48, 15-18 (1973)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (AFP)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (AFP) 標準品セット	(2濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (AFP) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)
対象検体種	血清、ヘパリン血漿	
測定時間	免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法)	結果報告 約20分
測定範囲	1. 0 ~ 400 ng/mL	
健常人参考値	≤ 10 ng/mL ³⁾	

3) 瀬戸 他、機器・試薬、12, 721 (1989)